

9番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 これからの道路網の整備について</p>	<p>豊後大野市の各町をつなぐ道路網の整備は少しずつではあるが改良されてきていると感じます。しかし、国、県道、そして市道も公共工事予算の激減で、なかなか思うような道路改良、維持管理ができていないのが現状です。</p> <p>また、市外からの観光客等が迷わないような、道路環境は現状では不十分だと思います。早期に整備すべきと考えますが。</p> <p>① 支障樹木の除去や道路脇の除草作業を、まだ増やすべきではないか。</p> <p>② 中九州横断道路が朝地町まで、いよいよ開通するが案内板等の施設要望をしているのか。</p> <p>③ 中九州横断道路からのアクセス道として、県道三重新殿線、県道三重野津原線、県道緒方大野線、県道緒方朝地線が主な幹線道です。道路改良がなかなか進まない現状ですが、市として更なる強い要望をすべきではないか。</p> <p>④ 市道の維持管理をもっと迅速、適正にすべきと思うし、現状を調査し少しずつ補修をしていけばと考えるが。</p>	<p>市長</p>	
<p>2 緊急災害の避難について</p>	<p>8月20日未明に広島市北部を襲った豪雨で、大規模土砂災害が発生し、多くの人命、家屋を一瞬のうちに飲み込んでしまった。山を切り開いて造られた新興住宅街での被災は日がたつにつれ、言葉を失うほどの心痛む状況です。今年、日本全国で突発的豪雨や落雷、ヒョウや激しい風等に見舞われて地球的異常気象を強く感じます。</p> <p>豊後大野市でも、こうした災害がいつ起きても不思議ではありません。こんな災害に対してのマニュアルが在りますが、本当に大丈夫なのでしょうか。日ごとに変わるのではなく、時間ごとに天候が変わっていく読めない気象をどう判断していくのか。避難指示や避難勧告、避難誘導に災害情報等の体制を今一度チェックすべきではないか。市民の生命財産を守るべく、動かなくてはいけない市の危機管理体制、市民の避難体制は大丈夫か伺う。</p>	<p>市長</p>	

6番 朝倉秀康 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 進む過疎化対策について	<p>我が国の人口は年間 25 万人減少し間もなく一億人を割り込み、半数の自治体は存続の危機に直面しているという。</p> <p>豊後大野市も合併後 4,000 人が減少し、さらに年間 400 人が減り続けている。子育てをし、成長した子どもたちを都会へ供給してきた地方は、若者が枯渇し、年とともに高齢化が進み、亡くなる人、施設へ入居する人等が年ごとに増加し、かつては活況を呈していた地方はもはや地域を守る活力、体力が衰退の一途をたどっている。</p> <p>そこで、国は地方再生の手段として、今度は増加し過ぎた都会人を逆に地方へ供給する国策をとるべきであると考えている。住める空き家、耕作する農地、新鮮な空気、野菜などの食物もたくさんある。また、都会生活に疲れた心を癒す場所もたくさんあることから、地方への移住策をとるよう、全国市長会を通じ国に働きかけたらと考えるが。</p> <p>市はこの過疎対策についてどのような展望を描いているのか伺う。</p>	市長	
2 全国神楽大会について	<p>今年は豊後大野市で全国神楽大会を実施することであるが、実行委員会はできたのか、またどのような企画などを計画しつつあるのか、その進捗状況を伺う。</p>	市長	

16番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市民病院について	<p>① 市民の生命と健康を守る市民病院の今後の在り方について伺う。</p> <p>② 市民の機能回復施設の増設について伺う。</p> <p>③ 市民病院の環境整備について伺う。</p>	市民病院事業管理者	
2 公共施設の統合見直しについて	<p>① 公共施設整理統合の進捗状況について問う。</p> <p>② 今後の計画を問う。</p>	市長	

11番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 市内の公園について	<p>① リバーパーク犬飼わんぱく広場に設置されている複合遊具ブリュッケン城において事故が発生したとして、3月末から使用禁止になっている。「早く使わせてほしい」という声があるが、市は今後どのような対策を講じていくのか伺う。</p> <p>② 市内には各課所管の公園があるが、子どもが楽しく安全に遊べる場として、各町の特性をいかした魅力ある公園を整備をしていく必要があると思う。市の考えを伺う。</p>	市長	
2 三重総合高校奨学金・入学準備金貸付制度について	<p>① 平成23年度から基金5,000万円で設置されている奨学金・入学準備金貸付制度の利用は、平成23年度に奨学金1名、入学準備金3名、平成24年度は奨学金1名のみで、平成25年度、26年度には利用がない。この現状をどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>② 文部科学省では、平成21年度から高等学校授業料無償制・就学支援金制度を始めており、保護者の月々の出費は、少し軽減されている。また、経済的理由により修学が困難な者に対して大分県奨学会の貸付制度も利用できることから、本市の制度を経済的理由等のある一部の家庭に限って、貸付型ではなく、給付型にしてはどうかと考える。市の見解を伺う。</p>	教育委員長	

平成26年第3回（9月）定例会 一般質問

9月9日（火）

3番 赤峰映洋 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 女性の更なる活躍促進について	① 豊後大野市役所の女性管理職の占める割合は、将来どのように推移するのか。 ② 豊後大野市内の女性の活躍における支援の取組は。	市長	
2 ふるさと納税は今後どのような推移をたどるのか	① ふるさと納税の本市における重要度は。 ② ふるさと納税を推進するための魅力ある取組は。	市長	
3 犬飼リバーパークの今後は	① リバーパークの遊具の再開は。 ② リバーパークの管理体制は。	市長	

5番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 市長の政策活動について	① 東京出張の際、国会議員方にはどのような要請活動をなされましたか。 ② 大分県知事には要請活動を何回、お願いに行かれましたか。また、地元県議をとおして要請活動に過去に行かれた事例回数をお願いします。	市長	
2 平成25年度の予算執行について	① 中堅職員研修、食のモデル地域育成事業の事業展開の活動の流れを、また日時、会場、講師等の実施された内容を伺います。 ② 契約の経過について伺います。	市長	

10番 佐藤辰己 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 今後の人口動向と将来像について	① 人口減少対策は市民と共有の課題とすべきである。今後の人口動向とその対策について伺う。 ② 合併して10年、今後の支所はどのようにあるべきと考えているのか。 ③ 公共施設等総合管理計画策定の必要性和進捗状況は。	市長	

7番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 観光資源調査事業「里見発見伝」での成果物をいかせ。</p>	<p>2011年度（平成23年度）、観光協会に委託された緊急雇用創出事業869万3,000円で、観光資源の調査・情報収集が行われました。調査・情報収集はきちんと行われたようですが、その成果物がパソコンの中で眠ったままです。今のままでは税金のムダ遣いではないでしょうか。</p> <p>① この観光資源調査事業は、何を目的に、どのように行われたのでしょうか。</p> <p>② 調査・情報収集の成果物については、当初、冊子にするとのことだったと聞いていますが、なぜそれが実現できなかったのでしょうか。</p> <p>③ この調査・情報収集の成果物について、地域別や種類別に並べ替えた冊子・書籍に仕上げ、図書館や学校、公共施設などで閲覧できるようにする、またホームページ上に掲載し閲覧できるようにするなどして、事業の目的を達成すべきではないでしょうか。</p>	<p>市長</p>	
<p>2 ジオパーク関連番組を、ビデオやDVDで市民に広げよう。</p>	<p>ぶんごおおのケーブルテレビで、ジオパークの認定を目指して、また認定後も、ジオパークの関連番組が制作され放送されています。しかし全ての市民がケーブルテレビを見ているわけではありません。これまで制作した番組を、他の方法でも活用すべきと思います。</p> <p>① ジオパークとは何か、どのような意味を持つのか、今以上に広く市民に知らせるため、これまで制作された番組をビデオやDVDにして、公共施設で上映や閲覧を可能にする、あるいは図書館等での貸し出しができるようにしてはどうでしょうか。</p> <p>② 公共施設の中でも歴史民俗資料館は特別の意味を持つ施設です。制作した番組のテレビでの常時上映、職員による説明、質疑、さらにはパソコンで作成した資料をテレビで投影して職員による説明など、ジオパークの拠点として施設・機能の充実が必要なのではないでしょうか。</p>	<p>市長</p>	
<p>3 戦争体験集を作成し、戦争体験を未来へ伝えよう。</p>	<p>来年は終戦70周年を迎えます。あの太平洋戦争では310万人の国民が命を失い、アジアでは2,000万人が犠牲になりました。終戦によってかろうじて戦地から生還された方々や戦争を生き抜いた方々も高齢化しています。</p> <p>我々戦後世代は、父から、祖父から、その戦争体験を聞いてきたものですが、いま、戦争を知らない世代が圧倒的に多くなる中で、戦争体験を直接聞いたこと</p>	<p>市長 教育委員長</p>	

	<p>がない世代が多くなり、戦争体験の継承、平和の継承が危惧されます。</p> <p>① 豊後大野市では、戦没者は何名おられますか。</p> <p>② 豊後大野市では、教育現場においては、子どもたちが戦争体験を直接聞く機会がどれくらいありますか。</p> <p>③ 集団的自衛権行使の容認論議の中で、再び「戦争する国」になる事への危機感から、これまで多くを語らなかった方々も、戦争体験、戦時中の暮らしなどについて語り始めています。</p> <p>終戦 70 周年を機に、戦争体験を未来へ伝えるために、戦争体験や戦時中の暮らしなどを募集して冊子・書籍の発行、映像化を行ってはどうですか。</p>		
--	--	--	--

18番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 社会福祉の拠点について</p>	<p>社会福祉協議会においては、合併と同時に、現在の三重農村環境改善センター内に事務所を構え、仮住まいであります。</p> <p>今後の本市の過疎、高齢化を考えると、福祉の殿堂と言っても過言でない、社会福祉の拠点が必要と考えますが、市としてどのように捉え、考えているのか伺います。</p>	<p>市長</p>	
<p>2 災害対策の在り方について</p>	<p>広島市北部における局地的な集中豪雨による大規模土砂災害は、死者、行方不明者80人を超す大災害であります。</p> <p>本市にあつては、関係者による防災パトロールや防災会議等も実施されているわけですが、本市の災害対策の在りようは、どのような状況の中で対応がなされているのか伺います。</p>	<p>市長</p>	

2番 川野優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 し尿・汚泥の処理等について	<p>① 本市では、し尿汚泥の処理等を特定の業者のみに行わせることを前提に一般廃棄物処理計画を策定している。この点には市民の批判も強いのに、あえて一社独占体制を継続しようとするのはなぜか。</p> <p>② 浄化槽の管理は、保守点検の認可を得た業者であれば自由に行えるのに、市の公共施設の浄化槽については、入札を行わず、随意契約で独占業者に管理を行わせている。個人（企業も含む）の浄化槽と公の浄化槽とを管理面で区別する理由は何か。</p>	市長	
2 食のモデル事業について	<p>この事業は多岐にわたるが、農業振興の点で、どのような成果が上がったのか。成果報告をしてください。</p>	市長	
3 公務員の政治的中立性について	<p>地方公務員は、地公法第 30 条でサービスの根本基準、第 36 条では政治的行為の制限が規定されているが、本市における職員の中立性について伺う。</p>	市長	